

# 日本産業教育学会・中四国地区部会 2017年度 第3回 研究会

日時：2018年3月9日（金）14：30～19：30 および 3月10日（土）9：40～11：00

場所：YIC スタジオ（専門学校Y I Cグループ本部・山口県山口市）

出席者（敬称略、50音順）

日本産業教育学会員

伊藤一統（宇部フロンティア大学短期大学部保育学科）（＝本記録作成）

小田茜（福岡大学大学院生）

岡村慎一（専門学校Y I Cグループ統括本部）

長船圭二（中国デザイン専門学校）

タグチカズコ（中国デザイン専門学校）

寺田盛紀（岡山理科大学キャリア支援センター）

半明 英幸（広島工学院大学校）

平田眞一（部会長・学校法人第一平田学園）

オブザーバー参加者1名

角光通子（宇部フロンティア大学就職課）

YICからの参加者4名（うち1名は学会会員と重複）

岡村（YICグループ統括本部長・理事）

中谷（YICグループ常務理事）

石田（YICグループ本部管理センター参与）

久賀（YICグループYIC広報センター）

## 1. 部会長挨拶（平田 部会長）

いきさつの説明と会場への謝辞。

## 2. 会場施設側挨拶（岡村 Y I Cグループ理事・統括本部長）

歓迎の挨拶および今回の会合全体のスケジュール説明

※懇親会については「提携する」隣のグランドホテルで行う旨の説明。

## 3. 学校紹介（久賀@YIC 広報センター）

YIC 広報センターの久賀氏より、YIC グループの概要について説明を受けた。

### 概要

YIC グループは、平成2年に宇部市に山口情報ビジネス専門学校を開校したことにはじまり、現在、7校の専門学校、幼稚園1園、3つの介護施設、企業主導型保育園を有する山口県最大の専門学校グループ。

グループの理念は、地域の発展に貢献する地域の皆さんのための教育機関として、地域に貢献できる人材を養成することを期して、現在までに1万名をこえる卒業生を輩出。つい今しがた、隣接するホテルで卒業式を挙行了したところ。

## グループの特色

山口県で初めて職業実践専門課程の認定を受けた。

教職員の働きやすさや研修の状況を認められた→グッドキャリアアワード受賞

卒業後もサポートするシステムをかまえ、転職等に対応。国家資格の産業コンサルタント等を常駐させている。また、多数のキャリアサポーターを配置している。

国際対応としては、上海から2名、ベトナムから5名を受け入れる予定。また、ベトナムの日本語教育を行う施設に参画。職員を外向派遣している。

## グループ各校の構成

山口市（YIC スタジオ内に3校）

- ・ YIC ビジネスアート専門学校 分野が6分野
- ・ YIC 公務員専門学校 今年度の公務員1次試験合格率は97.1%。1年制（50人程度）と2年制（30人程度）
- ・ YIC ビューティモード専門学校 トータルビューティ（エステを含む）

宇部市

- ・ YIC リハビリテーション大学校 理学療法、作業療法の4年制

防府市

- ・ YIC 看護福祉専門学校 看護（3年制）介護福祉（2年制）社会福祉通信、介護実務通信

周南市

- ・ YIC キャリアデザイン専門学校 総合デザイン（3年）、デザイン（2年）医療事務（2年）。行政や企業との連携が多い学校。

光市

- ・ YIC 保育&ビジネス専門学校 こども学科（2年制）

京都

- ・ YIC 京都工科大学校（23名の外国人を受け入れ）
- ・ YIC 京都ビューティ専門学校
- ・ YIC 京都ペット総合専門学校
- ・ YIC 京都日本語学校

その他

- ・ 多々良幼稚園（防府市） 英語教育、論語の音読等に挑戦
- ・ YIC キッズ（宇部） 企業主導型保育所、3園追加して合計4園の予定
- ・ 株式会社YICトラスト 介護ホームを3園

## 3.1. VTRによる各校の紹介

各校を紹介したVTRを視聴した。

（YIC ビジネスアート）カフェ：地域へ実演販売することで関わりを持たせてもらっている

（YIC ビューティ）美容コースも資格を必ず取る

（YIC リハ）卒業時にはリハビリ専門職になる、ということをもっとに。4年制なので、国際性をはぐくむということで、カナダへ短期留学。韓国の学校とも提携。

（YIC 看護）看護、介護福祉士。ICLS（救急）に力を入れた養成。

- ・ リハと看護に関してはリメディアル教育とクラッシー（国家試験対策）を導入予定。→基礎学力をチェックして対策。さらにeラーニングで補完教育を実施。
- ・ 介護は1000名近い卒業生を輩出。

（YIC キャリア）デザイナー、イラストレーターとしてのプロを目指す。行政・企業と連携した作品制作を行う。専攻科は既卒者・社会人を対象。

（YIC 保育）保育士と幼免取得。館内に子育てひろば「きらり」を有し、週に1回地域の親子が来

訪。そこで学びあえる。地域の活動にも参加。

#### 4. 学校見学（石田参与@本部管理センター）

続いて、本部管理センターの石田参与の案内で、YIC スタジオと隣の2号館を見学した。YIC スタジオは元ホテルの建物を利用しており、改修は必要最小限にして、既存の施設のままを最大限利用しているとのこと。このため、小さい部屋が比較的多い。2号館は隣接地に新設。実習場所と福利厚生施設を兼ねたカフェを設置（写真）。



#### 5. YICグループの経営について（中谷常務理事）

YICグループの中谷常務理事より、YICグループの経営の概要について説明を受けた。

##### 経営の特徴

YICの経営手法の特徴には、①時間当たり採算（アメーバ経営）、②手帳型経営計画書、③環境整備ということが挙げられる。

様々な分野の学校が集まっているため、それぞれに「スペシャル」の主張がなされがちであるが、これに対して、「数字」を共通の言語として①の時間当たり採算を設定、さらに③の経営計画書を理念のバイブルとして、YICの文化たる環境整備を醸成する。

##### アメーバ経営

経営の合理化のため、経営者の分身的な各リーダーの育成が必要。そのためのポイントとして、①社員の力を結集するための最低条件として、経営を透明にするため、実際の経営数字を社員に公開する（高い透明性）、②各リーダーに負担をかけすぎないようにするために、経費計算に人件費を含めない、③会社の財務会計数値と整合性を持つということを心掛けている。

これらのポイントを踏まえ、PDCAを早く回していくために、重点項目シート、採算計画遂行表、時間当たり採算（差引金額（売上粗利－経費）／働いた総時間）の計算、といったものを各学科に月ごとに作成・提出させ、予定→実績→次月予定というPDCAを月ごとに回していくようにしている。

##### 手帳型経営計画書

全職員に配付している手帳は、常時携帯を義務付けており、それぞれに個人番号が振ってあり、年度の終わりに回収、初めに新しいものを配付している。これには、理念、各種ルール・手続き等をはじめ、学生募集などのノウハウなど、グループの職員で共有すべき内容を網羅的に掲載している。

##### 環境整備

単なる清掃活動の類ではなく、教育の環境を整え、教育の質を高めて理念に沿った人材育成を行うため、教職員自らが気づくことを目的に行っている。

毎日5分間、決められた場所を皆で整備していくことを規定（YICの文化）。これについて、専務理事が毎月全グループについて点検している。また、改善（Good Job）アピールシートを配布してよい取り組みの知見を共有するようにしている。今までの事例としては、国家試験・各種試験合格率アップ、教育満足度向上、貸会場の予約の効率化（1300万から1600万までのびた）などがある。

経営サイドとしては、先生方にご理解いただきながら改善を進めていくために、悩むものであるが、最終目標として「YICにいるだけで育つ」となることを期して取り組んでいる。

## 5.1. 質疑応答

中谷氏の説明に対して、「手帳」の中身や活用の仕方への関心を中心に、会員からの活発な質疑が行われた。

## 6. <第二日目> 3月10日 YICスタジオ オープンキャンパス（3校合同） 視察

### 6.1. 概要説明

久賀氏より、オープンキャンパスの全体概要について説明を受けた。

### 6.2. オープンキャンパス視察

10時00分～

講堂（写真）に参加者全員を集め、広報チームのスタッフより全体説明（紹介ビデオ視聴が中心）。その後、各校のエリアに分かれ、体験授業へ。

各学科教員が担当して、PCプログラミング、ヘアメイク、菓子作りの講座を体験。

参加者は各自の関心に応じて見学後、流れ解散となった。

